

No.139  
2021/4/16



# OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1  
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118  
E-mail: kumiai@gifu-u.ac.jp  
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

## 春季・新歓期合同地区別単組代表者会議（全大教）に参加して

3月7日に、全大教主催の春季・新歓期合同地区別単組代表者会議が開催されたので、参加してきました。この会議は、例年、全大教加盟の近隣の単組がいくつか集まって、地区ごとに開かれるものですが、今年はオンライン開催であったため、北海道地区と中部地区というかつてない組み合わせが実現しました。

その結果、今まさに法人統合や大学再編の渦中にある大学が集うような形になり、この問題について多くの議論が交わされました。私からは、法人統合に伴う問題として、就業規則の一本化が行われる際に、大学間の労働条件の違いが低い方にならされがちな問題について、具体例を挙げて紹介しました。また名大職組からは、キャンパス間での事務統合・合理化が加速化している現状が紹介されました。これは確実に岐阜大学にも波及してくる問題であり、今後注視していく必要があります。

また、第4期中期目標に向けた「大学改革」の今後の展望についても多くの議論がなされました。その議論では、大学ガバナンス強化の一環として文科省が学部長人事に焦点を合わせ始めていること、人事院勧告の影響下からはずれた「第三の年俸制」が構想されつつあることなどが、個人的に印象に残りました。

いずれにしても、今後も「大学改革」のスピードが緩む気配はなく、改革が日常化したおかしな事態が残念ながら続いていきそうです。状況は一大学で対処できるものではなく、全大教の役割はますます大きくなっています。岐大職組としても、可能な限り協力・連携していきたいと思っています。

中央執行委員長 山本

# 今期の団体交渉の予備交渉を行いました

2021年3月31日

東海国立大学機構国立大学法人岐阜大学  
学長 森脇久隆 殿

岐阜大学職員組合  
中央執行委員長 山本公德

## 団体交渉申入書

大学運営への日頃のご尽力と、職員の労働条件向上についてのご配慮に、感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症への対策や、岐阜大学と名古屋大学の法人統合に伴って、労働環境にも少なからず変化が生じています。そんな中で、岐阜大学職員組合としましては、現在生じている問題点について、大学執行部のみなさまと認識を共有し、その改善について意見交換し合意すべく、団体交渉の開催を要望したく思います。

私たちの具体的な要望を以下のようにまとめましたので、団体交渉の席上にてご回答くださるよう、よろしくお願い申し上げます。

### 1 新型コロナウイルス感染症への対応について

・本務校を持たない非常勤講師に対し、遠隔授業対応により生じた負担（例：ウェブカメラ・マイクなど通信機器の購入費用、学生対応の増大による時間的負担など）への支援として、支援金を支給すること

### 2 東海国立大学機構設立に伴う問題について

#### ① 労働条件の不利益変更について

・出張等の大学業務において職員の自家用車を使用する場合に支払われる燃料相当額について、「1キロメートル当たり10円」（「東海国立大学機構における自家用車の業務使用に関する条項」第8条第2項）に変更した根拠を示すとともに、職員の自己負担が発生しない規定に改めること

・岐阜大学と名古屋大学の常勤教員について、一方の大学の教員が他方の大学で非常勤講師として行う授業に対し、機構設立以前と同様に非常勤講師代を支払うこと

## ②大学ガバナンスについて

- ・機構長および学長の選出に際して、従来の学長選挙と同様の意向投票を実施すること
- ・大規模な組織改編について、大学構成員にいち早く情報を開示し、意見を聴取すること

## 3 その他

・パートタイム有期雇用労働法に基づき、パートタイム勤務職員および契約職員に対して期末手当・勤勉手当の支給をはじめ、待遇の改善を図ること

以上

3月25日、学内は卒業式ということで、華やかな気分になりながら、組合と大学側の団体交渉に向けての予備交渉が行われました。

一般に、団体交渉では正式の交渉の前に予備交渉を行います。そこで、疑問点を問い質したり、大学側からも組合要求のより詳細な説明が求められたりします。状況によってはこの時点で本質的に解決する場合があります。

さて、今期の予備交渉は同日15:30～16:30に本部で行われました。大学からは運営局・上田特命部長、人事労務課・伊藤課長、同・横田課長補佐が、組合側からは四役が出席しました。

今期はコロナ禍と東海国立大学機構発足一年目ということで、要求にもそれらに関するものがいくつもあります。機構発足以前に指摘していた、杓子定規的な運営が現実のものとなり、職務に支障をきたしたり、職員に過度な負担を強いている実例を報告し、その改善を要求しました。

もっとも、予備交渉自体は穏やかな雰囲気の中で進みました。ここでは明文化されない大学の真意等が垣間見られることもありました。この予備交渉の段階で、双方ともに状況が依り正確に把握でき、職員の待遇改善に近づいたと思われることもありました。

大学側には「職員が大学から大事にされていると思えるような職場を目指して欲しい」と最後に付け加えておきました。

中央書記長 宇佐美

## 新人職員の勧誘

新年度が始まり、岐阜大学でもたくさんの新しい職員が赴任されました。そこで今年も、新規採用職員研修の終了後に時間をとっていただき、宇佐美書記長とともに組合活動の紹介と新規加盟の勧誘を行ってきました。

組合活動についてかいつまんで話してきましたが、組合に入ると部局や職種を超えて人脈が広がる、というくだりで頷いている人が多かった気がします。今年は新型コロナの関係で、対面での研修に参加していたのは事務系職員のみのようなのですが、パンフレットもよくはけたので、一定の周知には成功したかなと思っています。組合員のみなさんも、周囲に新人さんがいたら声をかけてあげましょう。

中央執行委員長 山本

## 2021年 春



左の写真

教育学部ドームと桜



2021年3月29日

教育学部ドームはいろいろな角度から桜と一緒に写真を撮ることができます。こちらからの桜は久しぶりに撮りました。

右の写真

工学部と桜

2021年3月31日

工学部と桜を一緒に納めることができる構図は、意外と限られています。ここは、その中の一つです。



📷 撮影・記事：中央執行委員 杉浦

